



平成28年9月28日

長久手市教育委員会教育長
堀 田 まゆみ 様

長久手市学区適正化検討委員会
委員長 近 藤 勝 志

長久手市学区適正化について（提言）

このことについて、平成28年8月1日（月）に開催した、第11回長久手市学区適正化検討委員会の結果、下記のとおり提言します。

記

提言内容

- 1 市が洞小学校区の児童数は、過去に推計した数値よりも現実には少なくなっている。学校区の再編などは長期的な観点で考えること。また、引き続き児童生徒数の動向を見守っていくこと。
- 2 1,000人を超える大規模校においては、一人ひとりの子どもに適切な教育支援を行うことができるよう、また、教職員の労務が過剰にならないよう引き続き、教職員の加配、教育環境等の条件整備において特段の配慮をお願いしたい。
- 3 児童生徒の通学時における安全対策について配慮をお願いしたい。
- 4 地域の人材を活用するなど学校と地域の連携を進めていただきたい。
- 5 児童生徒数のピーク時を見込んで学校施設環境を整えることも大切だが、先の人口減少も見据えた対応をお願いしたい。
- 6 児童生徒の増加に伴い、特別な支援を必要とする児童の増加が見込まれるため、支援がしっかり出来る環境を整備していただきたい。

－参考意見－

- ・働く親のために、放課後児童対策についても計画的に考えていただきたい。